



Hiroshima Associated Repository Portal

HARPとHARP参加館の実際

広島市立大学附属図書館 中請 真弓

2008年9月29日 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)平成20年度第2回幹事会

HARPとは、機関リポジトリとは

- 広島県大学共同リポジトリ(HARP)とは・・・

広島県内の大学が参加している共同リポジトリです。(現在11大学が参加) 設置・運営は広島県大学図書館協議会が行っています。2008年4月より稼働を開始しました。

- 共同リポジトリとは・・・

複数の大学で生産された教育研究成果物を一つの共同サーバに蓄積・保存し、発信する機関リポジトリのことです。

- 機関リポジトリとは・・・

各研究機関で生産された論文などの一次資料を電子的に整理・蓄積し、無償で公開する仕組みのことです。近年、国内外で機関リポジトリの構築が進んでいます。



- HARP
- 参加大学一覧

ブラウズ

- タイトル
- 著者
- 資料タイプ
- 日付
- ヘルプ
- 登録(管理者専用)
- パスワード変更

HARP >

HARP(Hiroshima Associated Repository Portal) : 広島県大学共同リポジトリは、広島県大学図書館協議会の運営する広島県内の公・私立大学等による共同リポジトリです。
参加大学の教育研究成果を蓄積・保存し、無償で発信する共同の電子書庫です。 [詳細](#)

参加大学

呉大学 = Kure University [27]
尾道大学 = Onomichi University [11]
広島国際大学 = Hiroshima International University [22]
広島国際学院大学 = Hiroshima Kokusai Gakuin University [41]
広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University [34]
広島工業大学 = Hiroshima Institute of Technology [61]
広島市立大学 = Hiroshima City University [99]
広島文教女子大学 = Hiroshima Bunkyo Women's University [71]
広島経済大学 = Hiroshima University of Economics [64]
日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing [100]
県立広島大学 = Prefectural University of Hiroshima [0]
HAUL 広島県大学図書館協議会 [0]

 呉大学 KURE UNIVERSITY

 尾道大学

 広島国際大学

 広島国際学院大学

 広島女学院大学

 広島工業大学

 広島市立大学

 広島文教女子大学

 HUE 広島経済大学

 日本赤十字広島看護大学

 県立広島大学

➤ 国内の機関リポジトリ

➤ 海外の機関リポジトリ

➤ JuNii+機関リポジトリ
ポータル

参加館の1つ(広島市立大学)紹介

- 1996年開学
- 3学部構成(国際学部・情報科学部・芸術学部)
- 教職員数：約250人
- 学生数：約2,000人
- 附属図書館蔵書数：約28万冊
- 附属図書館職員数：
館長(教授)、課長(兼務)、主査1名、主事1名、
嘱託職員9名

HARP参加前の広島市立大学附属図書館

- 図書館予算の削減が続く
- 正規職員の削減
- NIIの紀要の電子化事業未参加
 - 電子化についての許諾が取れない。それを積極的に勧めるだけの元気が図書館にない。

今、「これを頑張っている！」と胸を張れる
ものが何もなく、暗い気持ち・・・

平成18年10月HARP勉強会の誘い

- 「機関リポジトリ」という言葉を聞いたのは2回目。
- 新しいことに初めから関わることができる、という魅力。
- 他大学の人と交流できる、という魅力。
- 「機関リポジトリ」の意義

藁にもすがる思い。これ以上置いていかれたくない！
「勉強会」なら気軽に参加できる。

HARP勉強会と参加館数の軌跡

2006年10月	第1回勉強会(8大学13名)
2007年 1月	第2回勉強会(9大学15名)
2007年 6月	第3回勉強会(9大学15名)
2007年12月	第4回勉強会(13大学17名)
2008年 4月	第5回勉強会(15大学25名)
2008年 7月	第6回勉強会(13大学20名)

2008年4月30日 正式稼動開始！！

2008年9月25日現在、登録件数531件

2008年7月末のアクセス数14, 439件

HARPの運営体制

広島県大学図書館協議会



各大学の研究成果を無償で公開

共同リポジトリ委員会
(6大学で構成)

協議、運営計画等

事務局・庶務

システム班
・サーバ管理

普及班

- ・参加館募集活動
- ・広報活動
- ・勉強会の主催
- ・サポート活動

A
大学

B
大学

C
大学

D
大学

機関内での広報、コンテンツ収集、コンテンツ登録

サポート: HARP勉強会

(HARP参加館担当者＋県大図協有志で構成)
勉強会、メーリングリスト、情報交換等

共同であることのメリット

- コストを最低限に抑えることができる。
- 知識の共有や登録作業の協力が得られる。
- 登録するコンテンツの可視性が向上する。
- 参加館同士の連帯感
 - 困った時はメーリングリストで解決！
- 共同のためやらないといけない仕事もあるが、逆に他館が担当してくれる部分もある。
(当館の場合、システム構築の面で助けられている)

共同リポジトリ運営経費(試算)

年間必要経費

・ ソフトウェア保守費
252,000円

・ 機器更新積立(目安)
100,000円

合計 **352,000円**

※ 機器更新積立は現行機器の
スペックを5年後も使用するものと
した最低限の見積

参加大学	参加費
8大学	40,000円
9大学	36,000円
10大学	32,000円
11大学	30,000円
12大学	30,000円
13大学	30,000円

県大図協から3万円を支出することを前提に試算したもの。

現在の広島市立大学附属図書館

- ④ 担当は2名。他の仕事と兼務。
- ④ HARPとしての分担業務がある時は忙しい。
- ④ 先生方との距離が近づいた。
- ④ 学会についてもっと知ろうとする姿勢になった。
- ④ 情報収集に熱心になった。
- ④ コンテンツを集めていくことの達成感を味わう。

正直言って、楽しい。

そして、HARPがきっかけで多くの人と
会って話せるようになったのが嬉しい。

今後のHARP

- 随時参加、随時脱退(→発展的解消は理想？)
- 課題
 - △ ずっとサポートしてもらえる？
 - △ 参加館の意見が違ったらどうする？
 - △ 参加館の意思統一の方法は？
 - △ 参加館がHARPから独立して残されたら？
- とにかくコンテンツ収集！

まずはHARP全体で、コンテンツ数1万件
を目指したい！